

**製品名: p23 (リン酸化 Ser113) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05146**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTGES3
別名	PTGES3; P23; TEBP; Prostaglandin E synthase 3; Cytosolic prostaglandin E2 synthase; cPGES; Hsp90 co-chaperone; Progesterone receptor complex p23; Telomerase-binding protein p23
遺伝子 ID	10728.0
SwissProt ID	Q15185
免疫原	抗血清は、Ser113 のリン酸化部位周辺のヒト TEBP 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 79-128

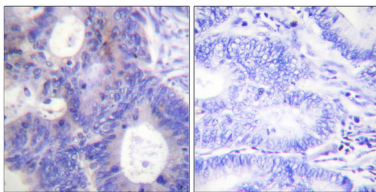
**背景**

この遺伝子は、プロスタグランジンエンドペルオキシド H2 (PGH2) をプロスタグランジン E2 (PGE2) に変換する酵素をコードしています。このタンパク質は、熱ショックタンパク質 90 (HSP90) と共シャペロンとして機能し、DNA 中の応答配列に局在して転写活性化複合体を阻害します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子には、複数の異なる染色体上に複数の偽遺伝子が存在します。 [RefSeq 提供、2016年2月],触媒活性: (5Z,13E)-(15S)-9- $\alpha$ ,11- $\alpha$ -エピジオキシ-15-ヒドロキシプロスタ-5,13-ジエノエート = (5Z,13E)-(15S)-11- $\alpha$ ,15-ジヒドロキシ-9-オキソプロスタ-5,13-ジエノエート。機能: ホルモン依存的にゲノム応答配列に局在し、転写調節複合体の分解を促進することで、受容体を介した転写活性化を阻害する分子シャペロン。経路: 脂質代謝; プロスタグランジン生合成。類似性: p23/wos2 ファミリーに属する。類似性: 1つのCSドメインを含む。サブユニット: テロメララーゼおよびプロゲステロン受容体に結合する。、

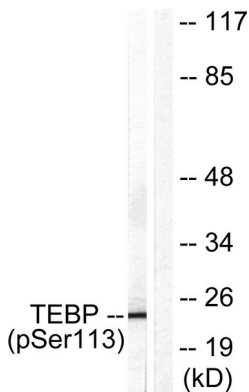
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

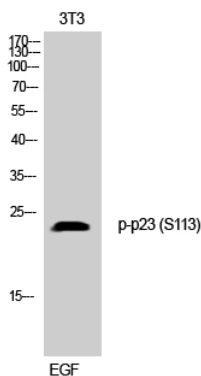
## 画像データ



TEBP (リン酸化 Ser113) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 30 $\mu$ L で処理した NIH/3T3 細胞のライセートを TEBP (リン酸化 Ser113) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 p23 (S113) ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析